

平成 29 年度  
授業改善推進プラン

平成 29 年 10 月 10 日（火）

小笠原村立小笠原中学校

# 目次

全体計画	1
国語科	2
社会科	3
数学科	4
理科	5
音楽科	6
美術科	7
保健体育科	8
技術科	9
家庭科	10
英語科	11

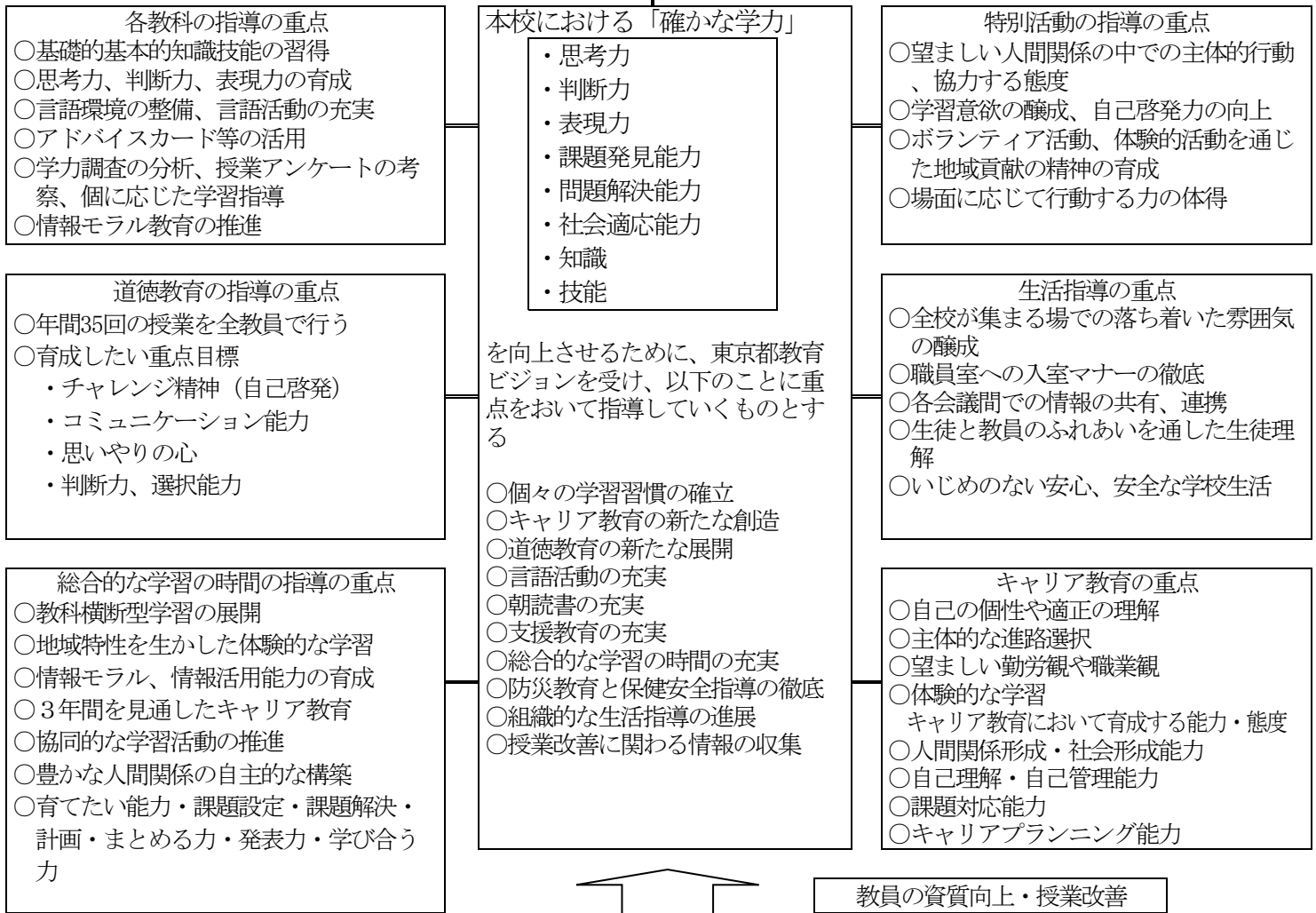
平成 29 年度小笠原村立小笠原中学校授業改善推進プラン全体計画

<p>関係法規</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本国憲法</li> <li>○教育基本法</li> <li>○学校教育法</li> <li>○学習指導要領</li> <li>○東京都教育目標</li> <li>○小笠原村教育目標</li> </ul>	<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よく学び、考え、行動する人</li> <li>○やさしくたくましい人</li> <li>○社会の一員として貢献できる人</li> </ul> <p>校訓「紳士たれ、淑女たれ」</p>	<p>地域の実態・願い</p> <p>世界自然遺産の島、少人数を踏まえて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣を身につける</li> <li>○豊かな心を育てる</li> <li>○地域を大切にすることを育てる</li> <li>○自主的に学習に取り組む</li> </ul>
--	---	--

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

○学ぶ意欲の喚起 ○学習習慣の確立 ○自分の学びに自信を

Keyword: breakthrough（難関や壁の突破、行き詰まりからの進展）



本校の授業改善に向けた視点				
教育課程編成	学習指導の改善	評価評定	校内研修・研究	家庭や地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○標準時数以上の授業時数の確保</li> <li>○英会話授業の設置</li> <li>○毎朝10分間の読書活動の実施</li> <li>○全校吹奏楽活動、特別活動、行事等の時間外活動の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の学力の分析（都、村学力テスト）</li> <li>○言語活動の充実</li> <li>○ICT機器活用の推進</li> <li>○発問、板書の工夫</li> <li>○教材教具の整備</li> <li>○長期休業中、放課後の補習指導の実施</li> <li>○家庭学習の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導計画と評価計画の一体化</li> <li>○評価規準、評価基準の明示</li> <li>○評価評定についての校内での共通理解、及び点検</li> <li>○評価評定方法についての研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教科による研究授業の実施</li> <li>○授業アンケートの実施</li> <li>○島しょ研修において外部講師による助言、指導</li> <li>○公開授業の実施</li> <li>○年間12回の校内研修会の実施</li> <li>○全教員の教育課題研修の受講（夏期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開週間の設定</li> <li>○学習相談週間の設定</li> <li>○地域の人材活用</li> <li>○道徳授業地区公開講座の開催</li> <li>○地域行事への参加</li> <li>○ホームページ公開</li> <li>○学校だより配信</li> </ul>

**1 生徒の学習の課題および問題点****【1学期】****【関心・意欲・態度】**

・授業に対しての意欲はとて高く、どの学年も積極的に参加をしているが、学習内容についての関心は単元の内容によって変化がある。

・基本的な授業態度（私語・時間・道具・姿勢）は、継続して改善すべき課題である。

**【読む力】**

・問いの文章を理解し、本文から見つけることが苦手な生徒が多い。定期考査の結果からも明らかである。

**【書く力】**

・自分の意見、感想を、正しい文章で伝えることが苦手である。

・原稿用紙やレポートの書き方も定着していない生徒が多く、文字を常に丁寧に書くことが定着していない。

**【話す・聞く力】**

・相手に自分の言葉で伝える際、言葉の選択方法が苦手である。

・一回の説明や指示から、生徒が理解するまでに時間がかかる。授業中は何度も同じ指示を繰り返し伝えることが多い。

**【言語に関する知識・理解】**

・漢字・語彙力が低い。

**2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）****【1学期】**

・興味、関心、意欲を高めるため、教科書の内容に関連したことを、多く参考資料として配布、掲示している。

・音読CD、デジタル教科書、インターネットなどのICT機器を活用し、視覚的に生徒へ伝え、興味、関心を高めるとともに、内容理解への支援をしている。

・授業のルール、評価基準をきちんと伝え、統一した授業形態を行っている。

**3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察****【1学期】****【村学力調査】**

1年：どの領域も、全国平均の達成率よりも上回っているが、やや低い領域は、「文章表現」「語句・文法」「説明的文章の読解」であった。

2年：全国平均の達成率より上回ったものは、「聞き取り」「語句・文法」であった。その他の領域が平均を下回っており、国語力が全体的に低いということがわかる。最も苦手とする領域は、「文章表現」であった。

3年：全ての領域において、全国平均の達成率より下回っている。特に大きく下回った領域は、「古文の読解」「漢字の読み書き」であった。

**4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）****【1学期】**

・授業規律徹底のため、2学期は黒板に「授業のルール」を掲示する。

・どの学年においても、自分の言葉で、自分の考えを伝えること、文章を作成することが苦手であることから、文章を作成し、相手に伝える授業展開を多く取り入れる。

・文章を作成するにあたって、「何をどう書いていいかわからない」という生徒のために、文章作成までの流れを、細かく指導していく。

・3学年の「古文の読解」では、上級学校への進学を考慮し、まずは古文の興味、関心を高めるよう、資料等多く取り入れる。

**1 生徒の学習の課題および問題点****【1学期】**

(思考・判断・表現)

・思考・判断の点では、複数の資料を総合的に考察することが苦手な生徒が多い。また、表現の点では、自らの言葉で社会的事象を表現することが苦手である。

(技能)

・グラフを用いて増減を判断するといった単純な読み取りはできるものの、数値処理を苦手とする生徒が多い。

**2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）****【1学期】**

(授業への取り組み)

・指示を聞いてから質問を受け付け、全員が学習活動を理解した上で活動に取り組みせる授業規律づくりを徹底している。

(家庭学習習慣の定着)

・家庭学習習慣の定着を図るため、その日の学習内容を復習する課題を課している。また、基礎的な内容のものを中心とした課題を定期的に出している。

**3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察****【1学期】**

(村学力調査)

・1年…いずれの観点も、A評価が全国平均を上回っている。  
・2年…資料活用を苦手とする生徒が多い。  
・3年…関心・意欲・態度はA評価が全国平均より上回っているが、他の3観点については、B・C評価が上回っている。

(定期考査から)

・いずれの学年も、関心・意欲・態度を見る問題は80%程度の正答率だったが、「知識・理解」は60%程度、特に「思考・判断・表現」「技能」は55%程度の正答率であった。

**4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）****【1学期】**

(社会的事象を表現する学習活動の充実)

・現在課している授業のまとめのワークシートを充実させ、社会的事象について記述することに徐々に慣れさせる。

(資料を読み取る能力の育成をめざした提示資料の工夫)

・授業において、地図、グラフ、年表、統計など様々な種類の資料を意図的に提示し、資料を読み取る力の育成を図る。

**1 生徒の学習の課題および問題点****【1学期】**

(関心・意欲・態度) 授業に前向きに取り組もうとする生徒が多い一方で、集中力に欠けることも多い。数学への関心・意欲の向上、分かりやすい授業を展開することが授業者の課題である。

(技能、知識・理解) 授業では理解を示すものの、定着に時間がかかる。計算の答えをだすことで満足してしまい、十分に振り返らない傾向がある。授業時間内で計算の途中の過程の重要性をしっかりと認識させ、繰り返し練習して計算の処理能力を高めるとともに知識の定着を図っていく必要がある。

(見方や考え方) 学力調査や定期考査を見ると数学的な見方や考え方を必要とする応用的な問題の達成率が低く、既習内容を発展・応用していく力に欠けている。既習内容を活用し、考え方に広がりをもたせるような授業を展開することが授業者の課題である。

**2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）****【1学期】**

(授業への取り組み)

- ・毎時間ノート提出、小テストなど生徒の定着度を確認している。
- ・基礎・基本の定着を図るため、授業内で多くの問題をするように心がけている。

(家庭学習)

- ・学習習慣の定着、基礎・基本の定着を図るため、定期的に課題を出している。

**3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察****【1学期】**

(村学力調査・定期考査より) 村の学力調査では1年生は全国平均より上回っている領域が多かったが、2、3年生はすべての領域で下回っていた。期末考査では、用語の意味を理解し答えを導き出す問題や基本的な計算問題はよくできていたが、見方や考え方を要する問題の達成率は低かった。全学年を通して、既習内容を活用する力が弱い。

(授業アンケートより)

- ・他の項目に比べて「授業の予習や復習」の自己評価が低く、自主学習ができていない傾向がみられる。2、3年生の授業に関しては、授業規律の面で授業者としての課題があるので、全員が集中して学習に取り組める環境を作る必要がある。

**4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）****【1学期】**

(関心・意欲・態度) 分かりやすい説明をするために、間の取り方・声の強弱の工夫や数学的活動・手作り教材の工夫をし、身近な事象や生徒が興味・関心を示す事象を取り上げたり、ICTを取り入れた授業の展開をする。生徒同士の教え合いやグループ活動を通して学びを深め、学習意欲を高める。

(技能、知識・理解) 授業で指導した内容を定着させるため、ワークや宿題プリントを活用し反復練習をする。計算は途中の計算過程を書くことを習慣づけさせ、できるようになるまで指導し、計算力の向上を図る。問題演習のときには、理解が不十分な生徒を中心に個別指導の充実を図る。

(見方や考え方) 生徒自身に考えさせ、既習内容を活用して自力解決できるような課題を授業で取り入れる。宿題で見方や考え方の向上を図るような問題を多く取り入れる。問題をいろいろな角度から考え、数学的に表現する能力を高める。

**1 生徒の学習の課題および問題点****【1学期】****【1年生】**

学習に対し意識が高く、積極的に授業を受けているが、基礎知識を応用したり活用したりする力が弱い。問題慣れしていないせいか、総合問題に対する解答を導き出すことが苦手である。

**【2年生】**

授業に対する取り組みは意欲があるが、内容の定着が薄い。

**【3年生】**

1・2年生で学習した内容に関して理解が不十分である。

**2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）****【1学期】**

- ・授業前に小テストの実施。同じテストを繰り返すことで、学習内容の定着をはかっている。
- ・単元ごとのまとめプリントの活用。
- ・レポートの書き方練習。（授業内で実施）

**3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察****【1学期】**

・全学年、アンケートから授業に対する意識は高く、しっかりと授業を受けようとする姿勢が見られる。特に1年生は授業内容の満足度も高い。これを維持していくことが今後の基礎学力向上の鍵となる。予習、復習に関する質問に関しては、取り組めていないという回答が多かった。記述によると、予習に関しては行っていないということである。

・学力テストの結果から、1年生は小学校での理科の内容を概ね理解しているという結果が出た。小学校で学習した内容は、今後の基礎となるので今後に期待がもてる。2年生は地学分野での正解率が著しく低い結果となった。3年生は、1・2年生で学習した内容での正解率が低い。一方、化学分野は比較的正確率が高い結果となった。

**4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）****【1学期】**

- ・小テストは引き続き行い、基礎内容の定着を目指す。
- ・実験はとても積極的に行うので、実験からわかることや気がついたことを文章化する練習をこれまで通り行いレポートにする力を養う。
- ・問題慣れするためにも、単元ごとの練習問題や総合問題を宿題にする。

<p><b>1 生徒の学習の課題および問題点</b></p> <p>【1学期】</p> <p>1学年：全体的に意欲的。表現したいことや感じたことを言葉で表現することにやや課題がある。男子の中に、歌唱に対して苦手意識を持つ生徒が数人いる。</p> <p>2学年：吹奏楽が特に意欲的で、休み時間等に自主的に練習する生徒も数人いる。演奏場面とそうでない場面の切り替えに課題があり、歌唱、器楽ともに時間がかかったり注意したりすることがある。</p> <p>3学年：歌唱は意欲的に取り組めるが、吹奏楽は意欲や習熟度に差がある。特に、音階や運指が十分理解できていない生徒が多い。</p>
<p><b>2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）</b></p> <p>【1学期】</p> <p>大きなタイマーを活用し、考える、練習するなどの時間の見通しを持たせている。</p> <p>吹奏楽では、各学年TTで授業を行い、つまずきの早期発見、改善を行った。特に1学年では、2時間連続授業を2度実施し、多くの生徒が楽器に興味を持ち、上達する喜びを実感することができた。</p> <p>模範演奏や鑑賞での実演による比較を意識的に行い、生徒の興味をひくことができた。</p>
<p><b>3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察</b></p> <p>【1学期】</p> <p>1学年で、記号について詳しく説明してほしいという意見が複数あったので、小学校の既習内容についても丁寧に確認していく。器楽の領域が吹奏楽という特色ある活動を行っているので、最初に興味を持たせて苦手意識や抵抗感をなくすことが大切だと改めて実感した。</p>
<p><b>4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）</b></p> <p>【1学期】</p> <p>全校合唱、全校吹奏楽では、合わせた時に充実感や達成感が感じられるように、授業の中で学年ごとに形にしていく。</p> <p>授業のスタートで持ち物をそろえさせる指導の徹底。</p> <p>模範演奏や実演をより増やして、興味関心に加え、向上心を育てる。</p> <p>吹奏楽では放課後の補習を検討し、基礎的な技能の定着を図る。</p>



<p><b>1 生徒の学習の課題および問題点</b></p> <p>【1学期】</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1年、2年 授業はメリハリがあり、忘れ物もなく、意欲的である。作品を継続的に制作し、より完成度を高めようとする忍耐力、向上心が少ないことが課題である。</li><li>・3年 男子数名は集中力が無く、落ち着いて制作できないことがある。</li></ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・デザインにおいて考えようとしているが、発想が膨らまないことがある。表現力はある、美しい形や、色に対しては感性が豊かである。</li></ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1年 個人によって技能の定着にむらがある。</li><li>・3年 生徒の能力、集中力の差が大きい。自分のやり方でやりたいという生徒もいる。失敗を恐れる傾向が強い。</li></ul>
<p><b>2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・課題の導入には、パワーポイントを使ったり、映像を見せたり、サンプル作品を提示している。</li><li>・発想が膨らむように、ねらいに応じて視聴覚室や図書室を活用している。</li></ul>
<p><b>3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主体的に授業を受けることが大切なため、「楽しい」と感じられるように、生徒の興味関心のある課題設定、導入を研究していかなければならない。</li><li>・授業のチェックでは忘れ物をしている生徒がいるにも関わらず、忘れ物をしていると回答した生徒が1人もいない結果からも、冷静に自己分析ができていない、又はアンケートを真摯に行っていないことが考察できる。</li></ul>
<p><b>4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・作品の仕上がりの優劣が評価対象ではなく、制作過程での学びや創意工夫、成長も評価対象なのだということを示す。また、実際にうまくいかなかったとしても、挑戦したことを褒め、伸ばしてあげたい。それにより、苦手意識をもつ生徒も授業に取り組めるようにする。</li><li>・生徒1人1人に対して、どのようなものを作りたいのか、共に考え、ワークシートにコメントを必ず書き込み、コミュニケーションを取りながら、自己実現ができるように丁寧にサポートしていく。</li></ul>

<p><b>1 生徒の学習の課題および問題点</b></p> <p>【1学期】</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自らが興味を持つ内容に関してはとても意欲が高く、積極的に体を動かすことができるが、そうでないものに関しては意欲的になるまでに時間がかかる。また、日によってムラがあるのも事実である。</li></ul> <p>(思考・判断)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・考えたことや感じたことを言葉や文章で表現することが苦手な生徒が多く、振り返りカードでは、短い言葉で終わることが多い。</li></ul> <p>(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・比較的能力は高い。しかし、1年生は筋パワー、2・3年生では全身持久力に課題が見られる。</li></ul> <p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定期考査では、基礎的なルールや用語の知識の定着に課題が見られた。</li></ul>
<p><b>2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各単元に適した学習カードを使い、単元計画なども伝えるなど見通しを持って学習できるようにしている。</li><li>・体育委員を中心に生徒達が主体的に活動できるような導入を実践している。</li><li>・同じ運動の繰り返しより、新しいものに興味を示す傾向があるので、音楽をかけてリズムの中で運動させることを試している。</li></ul>
<p><b>3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体力テストの結果によると、各項目で高得点を出している生徒がいた。しかし、高得点を得られない生徒もいたため、都や全国に提出したテストの結果が戻ってきたところで再度分析・考察していきたい。</li><li>・定期考査は学年によって差があったが意欲的には取り組んでいた。</li></ul>
<p><b>4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習カードの様式をさらに精選し、生徒がわかりやすくかつ取り組みやすいものにしていく。</li><li>・保健の学習などでは映像資料等も用いながら生徒に考えさせ、興味をひかせるような授業展開を計画していく。</li><li>・授業に対する取り組みの姿勢や態度も評価に関わることをもう一度確認し、積極的に取り組む雰囲気を作っていく。</li><li>・導入時に、体力テストの結果を踏まえ実態に応じた補強運動を実践していく。</li><li>・グループ活動やチェックし合う機会を多くする。</li></ul>

<p><b>1 生徒の学習の課題および問題点</b></p> <p>【1学期】</p> <p>1学年：授業に意欲的に取り組んでいるが、知識・理解の定着に時間がかかることが課題である。 2学年：実習の授業と、その他の授業内容では取り組みに差があり、意欲にばらつきがある。 3学年：授業に意欲的に取り組んでいるが、集中して取り組める時間が短い。</p>
<p><b>2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）</b></p> <p>【1学期】</p> <p>目標設定をし、反復してトレーニングを積み重ね、継続して記録することで生徒自身が成長を実感できるようにした。 授業内容に沿ったワークシートやノートを活用することで、発展的な学習を家庭で取り組めるようにした。 指示を明確に示したり、板書したりしておくことで、実習を円滑に進めるようにした。</p>
<p><b>3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察</b></p> <p>【1学期】</p> <p>製作活動に積極的に参加できている生徒が多い。技術の授業においては製作物が動いたり、完成したりすることで、生徒は充実感を感じることができる。 1学年は指示や決まりをしっかりと守ろうという意識の高い生徒が多かった。実習授業において明確な指示を示しておくことでより円滑に実習授業を進めることができると考える。</p>
<p><b>4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）</b></p> <p>【1学期】</p> <p>生徒が積極的に参加できるような体験的な活動を多く授業に取り入れる。 集中を切らさずに実習をできるように、授業の流れを示して見通しをもてるようにしたり、説明や指示を明確にしたりして、生徒のつまづきをなくす。 2学年、3学年においては指示やきまりを守ろうとする意識を高められるよう、理由や根拠を踏まえて声かけをし、指示やきまりを明確に示すようにする。</p>

<p><b>1 生徒の学習の課題および問題点</b></p> <p>【1学期】</p> <p>【1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知識理解の面で家族関係に関する時事的な語句の定着が図られていない。</li></ul> <p>【2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・提出物の提出状況や記入状況に関して、1学年の時に比べると授業に対する意欲が低い。</li></ul> <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自ら課題を設定したり、課題について考える姿勢や課題解決する力が身についてない。</li><li>・授業規律の面で改善した部分はあるが、いまだに授業に関係ない私語や不要物などの扱が見られる。</li></ul>
<p><b>2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業の継続性が保たれるように、導入として前回のワークシートの記述をもとにフィードバックを行っている。</li><li>・授業の中に活動を入れ、説明した内容が実感をともなって理解できるようにしている。</li></ul>
<p><b>3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業内で繰り返し確認を行った事柄に関しては、定期考査での定着が見られる。</li><li>・アンケート内の授業の評価に関しては、概ね良い回答が得られている。</li><li>・アンケート内の生徒の授業等に関する取り組みでは、積極的でない生徒が少し見られる。</li></ul>
<p><b>4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）</b></p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知識や技能の定着のために、繰り返し課題に取り組みさせる。</li><li>・定期考査の内容に関して再度取り組み、重要な事柄を理解させる。</li><li>・興味関心をもって授業に取り組みさせるために、教材として最近の話題や、生徒に関心のある事柄を取り上げ、授業を行う。</li></ul>

**1 生徒の学習の課題および問題点****【1学期】****【1年生】**

・授業への取り組みは前向きでとても良いが、学習そのものに対する意識は低い。そのため、基礎的知識が定着していない。

**【2年生】**

・英語への苦手意識がとても高い。授業中に質問をしたり、積極的に発言をしたりする姿が見受けられるが、中には意欲的ではない生徒もいる。1年生の学習内容が定着していないところが多い。

**【3年生】**

・授業への取り組みは悪くはないが、集中力が続かないので、授業内容が頭に入っていない様子である。また、1, 2年生の内容がほとんど身につけていないため、文法問題がとても苦手である。

**2 授業の工夫等（教材、授業展開等、実践しているものや効果的な物等）****【1学期】****【全学年】**

・基礎的知識の定着を図るために、文法事項を丁寧に指導、説明している。  
 ・復習を行う習慣がないので、授業の予習・復習を宿題という形で取り組ませている。  
 ・英語の音読やペアワークをする機会を多くし、英語を話す時間を多く取り入れている。

**3 授業アンケート及び学力テストや定期考査からの分析と考察****【1学期】****【1学年】**

・英語自体は好きで、英語を使おうとする意識はとても高い。ただ、授業だけで終わってしまうので、なかなか基礎的知識が身につかず、学力向上には繋がっていないようである。

**【2年生】**

・1年生の頃の苦手意識が抜けず、英語に向き合おうとしていない。2年生になって頑張ろうとする様子もあるが、復習をしないため、なかなか学力が身につかないのが現状である。

**【3年生】**

・受験生という意識から、授業を前向きに取り組む姿勢の生徒が多い。しかし、宿題をやったり発言したりするだけで英語を理解したつもりになり、復習をしないため全く学力向上に結びつかない。

**4 授業改善のための具体的対策（研究授業の研究協議会の内容等も含む）****【1学期】****【1年生】**

・授業の中で復習する時間をより多く設ける。文法問題に取り組むことがとても苦手なので、色々な問題にふれる機会を多くする。

**【2年生】**

・1年生の内容の復習を繰り返し行いながら、2年生の内容を積み重ねる授業にしていく。授業中に、何度も繰り返し説明をして、英語の理解の定着を図りたい。

**【3年生】**

・集中力が続かないので、生徒にとって分かりやすい例を挙げながら文法を説明していく。また、発言は多いので、発言の機会を多くし、生徒のやる気を上げながら進めていく。